

## 「千葉市特定小型原動機付自転車シェアサービス実証実験」の事業予定者が決定しました ～全国初！バイク型車両を導入！～

千葉市では、公共交通を補完する新たな交通サービスとしての、特定小型原動機付自転車の有効性および課題などを検証するため、本市と共同でシェアリング方式による実証実験を実施する事業者を公募型プロポーザル方式により募集しました。

このたび、市内でシェアサイクル事業を展開する OpenStreet 株式会社を事業予定者として決定しましたので、お知らせします。

なお、今回の提案では、特定小型原動機付自転車として一般的に知られているキックボード型ではなく、全国初となるバイク型車両の導入や、シェアサイクルとアプリやポートを共通化することを特徴としています。

### 1 事業予定者

#### (1) 名称

OpenStreet 株式会社

#### (2) 選定方法

参加表明のあった1者について、市職員（5人）で構成する選定委員会で、提出された企画提案書を基にプレゼンテーションおよびヒアリングを実施し、選定。



導入予定のバイク型車両  
(開発中イメージ)

### 2 提案概要

#### (1) 機体の概要

ア 全 長 1, 280 mm

イ 重 量 約 20 kg

ウ 最高速度 20 km/h (歩道走行 6 km/h)

エ 特 徴

- ・重心が低く安全性の高い、着座式のバイクタイプ
- ・デザイン・設計から車両開発を行う国内のモビリティメーカー製
- ・手元のボタン一つで前進（ペダルなし）
- ・14インチ大径タイヤで段差もつまずきにくい

※機体は開発中の製品につき、仕様、外観に変更がある場合があります。

#### (2) サービスについて

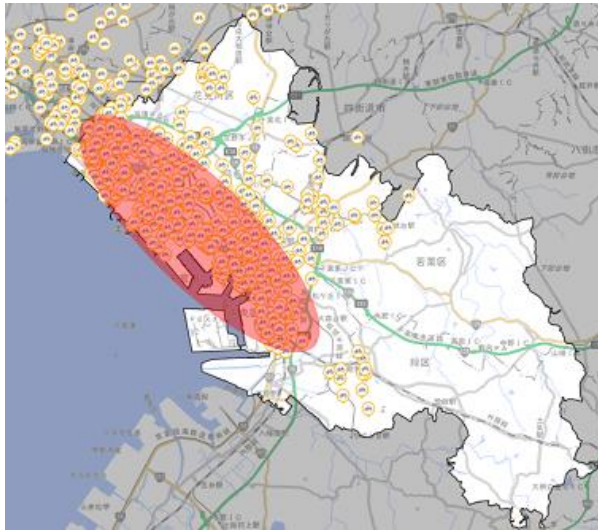
- ・市内約450カ所、月間利用回数3万人を超える千葉市シェアサイクル事業と同一のアプリ・ポートを活用。
- ・将来の千葉市全域での展開を視野に入れ、令和7年3月までに600台を投入し、モビリティ導入の有効性を検証する。

#### (3) 実施期間

令和6年1月（予定）～令和7年3月末

(4) 実施地域

幕張新都心を含む以下の赤枠エリア



※黄色いピンは、シェアサイクルポート設置箇所。

※事業開始時点での詳細な実施範囲については、事業者との協議により決定。

3 実施体制

千葉市を実施主体、公募により決定した事業者を運営主体とし、共同事業として実施。

主体	千葉市（実施主体）	民間事業者（運営主体）
役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業全体の総括</li> <li>・ 公共のポート用地確保（占用料を免除）</li> <li>・ 関係者調整（交通事業者、自治会等）</li> <li>・ 市民等への周知（ホームページ、市政だより等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設および器材整備</li> <li>・ 民間のポート用地確保</li> <li>・ シェアサービスの運営</li> <li>・ 違法駐車対策</li> <li>・ 利用者アンケート・データ収集等</li> <li>・ 利用者への周知・広報</li> </ul>

<参考> OpenStreet 株式会社について

平成28年11月に設立し、シェアサイクルプラットフォーム「HELLO CYCLING」をはじめとした移動プラットフォームを提供。

シェアモビリティに参入したい事業者に「HELLO CYCLING」のシステム（IoT ロック、利用者向けアプリ、決済システムなど）を一括提供するビジネス形態をとっているのが特徴。

シェアサイクルに関して全国104自治体と連携しており、千葉市内では約450ステーション、自転車台数約2,000台、月間利用者数3万人を突破。市民や来街者の利便性・回遊性向上や地域活性化を目的とした、公共交通を補完する交通サービスとして利用されている。

